

推し活の遠征が地域に与える効果

氏名 小野菜子

筆者は、卒業研究の内容として、興味のある分野であるファンツーリズムを研究対象とした。筆者は、舞台俳優を推しの対象として、遠くの地域まで応援しに行く行為、いわば遠征を行っていたことがある。それゆえ、筆者自身が体験で得たことも資料としつつ、この卒業研究を行いたいと考えた。2.5次元舞台は、舞台の原作となった作品にゆかりのある地域への観光など、コンテンツツーリズムとして一面もあり、推しだけを目的とした遠征によるファンツーリズムよりも、経済効果がみられるという仮説を立てた。

特に、舞台俳優を目的としたファンツーリズムは、ジャニーズに比べ経済効果の差はあるのかということに着目した。ファンツーリズムの先行研究を探していると、題材としてよく焦点が当てられるのは、国民的アイドルのジャニーズだったため、本文の中で比較対象とした。

研究方法は、先行研究による文献による考察と、筆者自身がアンケート調査を行った。

この研究から、舞台俳優のファンは、推しにかかるお金のほかにも、舞台作品のゆかりの地を観光として訪れているという結論を得た。よって、ジャニーズなどに比べて、2.5次元作品はコンテンツツーリズムとファンツーリズムの両方の側面から、地域に大きな経済的影響を与えているということが明らかになった。

この卒業研究を終え、観光学への理解や関心を深めるとともに、将来への展望を示すことができた。